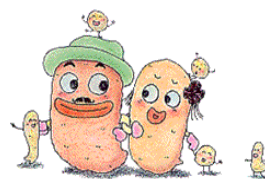


# 湯戸飛夜いけいけだよ



Jinen Joe family

第15回

「てくてくウォーク」

発行 西徳山まちづくりの会

わがまち再発見!

記事:

- ・「てくてくウォーク」でわがまち再発見
- ・西徳山まちづくりの会総会を開催
- ・JR戸田駅前広場の活用案について
- ・連載小説『涙に咲いた紫の菖蒲』
- ・「西徳山まちづくりの会」会員募集
- ・花いっぱい運動 戸田駅前のシンボルツリー?
- ・お知らせ

## 会員募集中

あなたも「西徳山まちづくりの会」で一緒に活動しませんか。会では、常時会員を募集しています。

連絡先:

(0834)63-3770

(神本)まで

5月31日、若者、熟年あわせて23名、元気よく戸田駅を出発、新緑の中国山地17kmのウォーキングプラス森林浴!です。

参加者は、おなじみや新顔、皆さんがうち解けて、ワイワイ、がやがや、おしゃべりに花咲かせて、てくてく。のんびり辺りの景色を眺めながら矢地峠を目指しました。道沿いにはキスゲやカンナが咲き、川沿いには目に優しい緑が輝き、急坂のコースを楽しみながら矢地峠をクリア。山間部はアップダウンのコースがしばらく続き、田植えを終えたばかりの植田には かわいいオタマジャクシが泳ぎ回り、木間隠れに山アジサイが、梅雨を待ちかねて可憐な花を咲かせ、時折の山風に白い花を控えめに揺らしていました。

この「ゆったり ゆっくり のんびり」こそまちづくりの会ウォークの歩き方。ゆっくり歩いてこそ見える景色、そして感動。

湯野峠からは森林浴コース、杉木立の山道は少しの下り坂で木下闇の涼風がこれまでの田園コースではまった身体に心地よく吹き抜ける。これこそがメインコース。

昼食場所の湯野公民館へ三々五々到着。長いコースを歩いてきた皆さんの顔は、何だか朝よりはつつつとしてお疲れの様子はなく、みんな揃って美味しい昼食を頂きました。

休憩中は、足湯を楽しんだり、買い物をしたり、各々が自由に過ごし、みんな揃って無事に戸田駅に到着しました。



明るい笑顔とすてきなポーズありがとうございました。



「てくてくウォーク」は名前の通り、てくてくと歩き、景色を楽しみながら西徳山を知って頂く健康ウォークです。私たちのまちを、自分の足で歩き、「見て 聴いて 感じて」ふるさと再発見をしてみませんか?一緒に歩いて汗を流し、食事をし同じ景色をみて、それぞれ心に感じる。それが一体感に繋がれば本当に素晴らしい事です。

西徳山をよく知っている方、もっと知りたい方、そんな方もそうでない方も一度このウォークに参加してみませんか。

1か月前に各公民館、駅のポスターでご案内します。まちづくりの会会員一同、心よりお待ちしております。

次回は10月に 西徳山ぐるりまち歩きを予定しています

# 西徳山まちづくりの会 総会を開催

平成27年5月23日(土)正午から夜市公民館で、地元の土屋市議、村岡戸田地区自治会連合会長、藤井夜市地区コミュニティ推進協議会長、小林夜市支所長とぼうぼうネットの山崎さんを来賓に迎え、平成27年度定期総会を開催しました。

総会では、6つの活動方針を決定しました。

## 【27年度活動方針】

- 1 戸田駅を中心とした活動を継続する
  - ① 西徳山の玄関口である戸田駅を「花の駅」として整備する
  - ② 駅舎の活用を考える
  - ③ 「道の駅ソレーネ周南」と連動した戸田駅前でのイベントを検討する
- 2 「道の駅ソレーネ周南」を拠点とした活動に新たに組み込む
  - ① 「道の駅ソレーネ周南」の盛り上げに積極的に協力する
  - ② 惣菜工房「ひとめぼれ♡」の活動を支援する
- 3 西徳山の発展を目指した新たな活動に取り組む
  - ① “観光資源”“自然環境”を活かした活動を目指す
  - ② 西部地域のウォーキングコースを充実・PRする
  - ③ 高齢者や子供たちに優しい街づくりを目指す
- 4 交流・研修・広報活動に取り組む
  - ① 研修旅行、見学会の定期開催
  - ② セミナー、交流会の企画開催
  - ③ 「湯戸飛夜いけいけだより」の定期発行
- 5 組織を拡充し拡大する
  - ① 会員増強
- 6 他の諸団体と連携し効果的な活動を展開する
  - ① 西徳山の他組織との連携
  - ② 行政との連携及び提案
  - ③ 他団体との連携



総会後には故松原書記の遺影とともに懇親会を開催しました。来賓の方々にもご参加頂き、思い出話や今後の展開を語り合いながら大いに盛り上がりました。

## JR戸田駅前広場の活用案について

西徳山まちづくりの会では、戸田駅を中心に、会員に無理のない範囲で継続的な活動を行っています。そこで、活動を行う上での「お願い」事項を、周南市長に次のように伝え、皆さんと共に“まちづくり”を行いたいと考えていますので、ご紹介します。

- ① 花の水やりが簡単にできるよう、水道の設置をしてもらいたい。  
(東は信号機のところまで、西は出入り口までの範囲において)
- ② JRの所有地であるコンクリートのところを、コンクリートの張替えなどで整地し、利用できるようにしてもらいたい。
- ③ 実証店舗「ゆーとぴや」跡地を、草が生えないよう整地してもらいたい。
- ④ 戸田駅前広場を公園として利用できるよう「東屋」「水飲み場」を設置してもらいたい。
- ⑤ 中村入口の広場(ゆーとぴや第2駐車場)をアスファルト舗装して、駐車場として再整備してもらいたい。



第2駐車場



## 連載小説

# 『涙に咲いた紫の菖蒲』 第1回



文 城山 耕彦

4月の凧の瀬戸内海、富海の沖を1隻の軍船が東へ向けて航行をしている。軍船は大きく左舷に傾き、水夫(かこ)達はあえぎながら舟を漕いでいる。水夫の中の一人は船に入ってくる海水を船外へ汲み出し、汲み出ししている。いくさに敗れて逃げている一党であることは一目瞭然である。

その今にも沈没しそうな船に乗っているのは、森重四郎という武士とその家来が3人、外の5人は水夫である。それにもう一人、色は白く、目は切れ長、鼻筋が通り、都の公達と思われる顔立ちの青年が乗り組んでいる。山本泰盛19歳である。泰盛は平清盛の妾腹の子であるので、平の姓はつけられていないが、清盛はこの泰盛をかわいがり、将来を囑望されていた。

ほんの10日ほど前の長門の壇ノ浦のいくさでは、平氏は源氏に大敗を喫した。森重四郎は、船30隻に兵300と水夫200の頭領で、平家の重要な地位を占めていたのだが、散り散りになり、今や3人の家来と5人の水夫だけになって、命からがら逃げてきたのだ。

海上の戦では、武士同士の戦いであるとの前提があるので、船を操る水夫達には手出しをしないというのが暗黙の決まりであった。平氏は忠実にその決まりを守っていたが、源氏はちがった。水夫たちを狙って矢を射かけ、楫(かじ)取(と)りも容赦なく的にした。そのために操船が不能になったのが、平氏の敗因の大きな一つである。

壇ノ浦はあたかも地獄絵のような有様だった。

平清盛の娘徳子が高倉天皇に嫁ぎ、天皇との間に生まれたのが、3歳で即位した安徳天皇である。そして、平家の都落ちとともにこの壇ノ浦まで連れてこられたのである。そのときの天皇の齢7歳であった。

源氏の容赦ない攻撃に耐えかねて、もはやこれまでと思い、清盛の妻の二位の尼が7歳の安徳天皇を抱いて海へ飛び込むと、建礼門院徳子も後を追った。その後、平家一門の武士達は、甲冑の上に船の錨を巻き付けて、次々と赤間の関の海へ飛び込んでいった。

この物語の主人公の泰盛も平家一門の武士として、いざ海へと思い、錨を探したが見つからない。甲冑のままに海に飛び込んだ。そのとき、森重四郎の船から差し出された鳶口に泰盛は引っ掛けられ、四郎の船端に引き上げられたのである。

このようにして、森重四郎と3人の家来、5人の水夫、それに山本泰盛の一行は、やっとのことで壇ノ浦を脱し、平氏の知行地である周防の国まで落ち延びてきた次第である。

話は書き出しに戻るが、一行は富海の沖を東へ向かっている。

「四郎様、わしらはもう限界です。船も沈没しそうです。このあたりで上陸してはいかがでしょうか。」と水夫の頭が言う。

「あの岬を回ったところで上陸するとしよう。」と森重四郎は答えた。

船は岬を回り、白髪の浦と呼ばれる小さな入り江に到着し、ここで一行は上陸した。この白髪の浦は、後に森重四郎が隠れ住んだことから四郎谷と呼ばれる。

「そろって行動すると危ない。負け戦になると、平氏方であった四国や九州の水軍は、みんな寝返って源氏方についてしまった。このあたりも油断はできない。今後はばらばらで行動しよう。」と四郎が言ったので、それぞれは、思い思いの格好で散らばっていった。

山本泰盛も北の方角へ向けて、人目をはばかりながら落ちていった。彼は横笛の入った錦の袋を大事そうに懐に隠し持っていた。

つづく



## 西徳山まちづくりの会

### 編集後記

ひとくちに30号といっても、足掛け8年。3ヶ月に1回ずつ発行し続けるというのは容易なことではなかったと思うのですが、あつという間のことでありました。

まちづくりの会が発足しておよそ20年が経ちますが、最初から何度か、会報を出すことを試みました。しかし一度発行したら、それっきりという状態でした。

このような中で、8年前に広報部ができ、編集委員の話し合いで、「西徳山いけいけだより」第1号が発行されると、2号、3号と続いていきました。そして今回記念すべき30号を迎えることができたのです。これもまちづくりの会員の皆さんの協力はもちろんのこと、読者である西徳山地域の皆様のおかげであります。

そして何より、西徳山まちづくりの会をこよなく愛し、「いけいけだより」の発行に尽力された書記担当理事の松原さんの功績を忘れてはいけません。松原さんのおかげの30号といっても過言ではありません。

松原さん、私たちは、あなたの御遺志を引き継いで、できる限りこの広報を続けていきます。どうぞ天国で見守っててください。ありがとうございました。合掌。

神本康雅

発行責任者

会 長 神本康雅

広報部長 木曾裕子

西徳山まちづくりの会

ホームページ URL:

nishitokuyama.web.fc2.com

## 「西徳山まちづくりの会」会員募集



【主な活動内容】

- 「湯戸飛夜いけいけだより」発行  
～3ヶ月ごと。  
平成27年7月現在、30号まで発行～
- てくてくウォーク開催
- 戸田駅前花壇づくり
- 戸田駅前の定期清掃 ほか・・・☆

私たちの大切なまちのため、  
みんなで考え、活動しています

※「湯戸飛夜」・・・3地区の一字を取り、ユートピア（理想郷）を願い、当会が平成13年に造語、使用開始した単語です。

### 花いっぱい運動

## 戸田駅前のシンボルツリー？



戸田駅前の駐車場の歩道に並んだほうき草をご存じですか？

春に種をまいて秋に枯れる一年草で、もこもこした形が愛くるしく、色の変化が楽しみな花です。

これでほうきを作ったことから、ホウキギの和名もあります。会員の河井さんが中心となって丹精こめて育てています。

「戸田駅？ああっ！ほうき草の並んでいるところね！」と言われるよう、シンボルツリーをめざします。

### 【お知らせ】

#### ○西徳山まちづくりの会の全体会

原則として毎月第1水曜日の19:30から、夜市公民館で開催します。興味のある方は遠慮なくご参加ください。

#### ○戸田駅前広場の掃除と花壇の手入れ

毎月第2第4土曜日午後5時から行っています。一緒にしてみませんか。皆さんの参加をお待ちしております。

#### ○戸田駅前広場での【夕涼み会】を企画中です。

企画が決まりましたら、ポスター等でお知らせします。